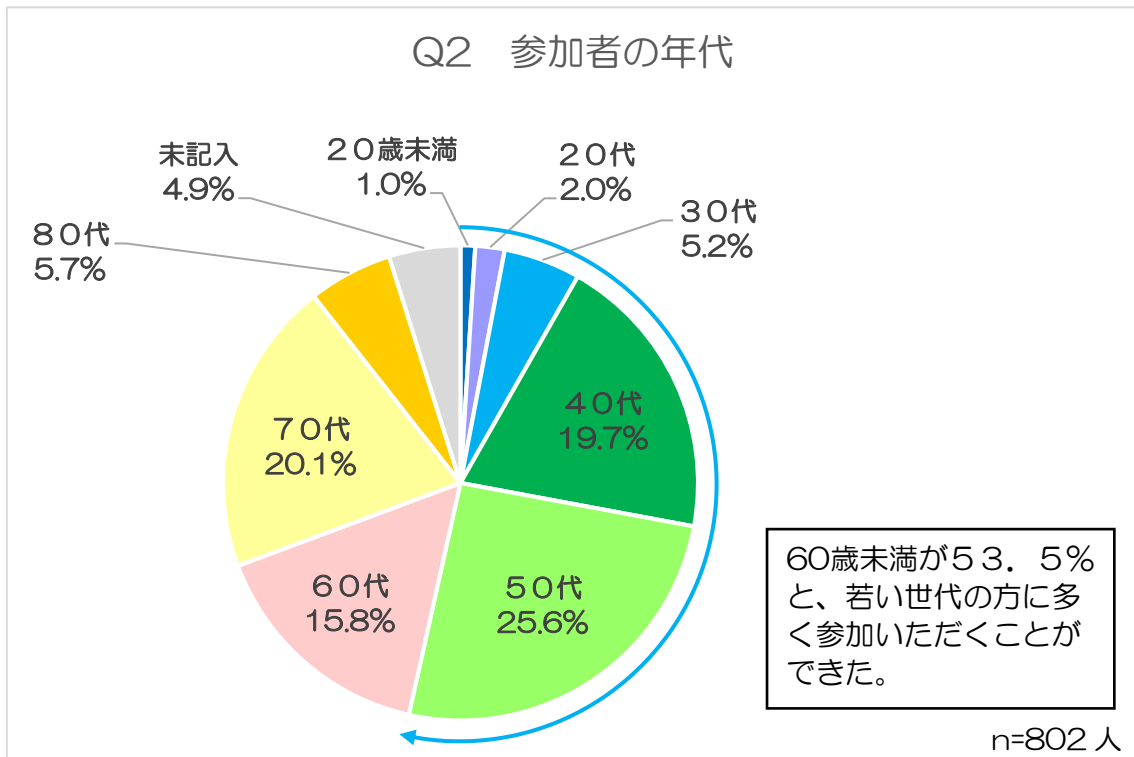
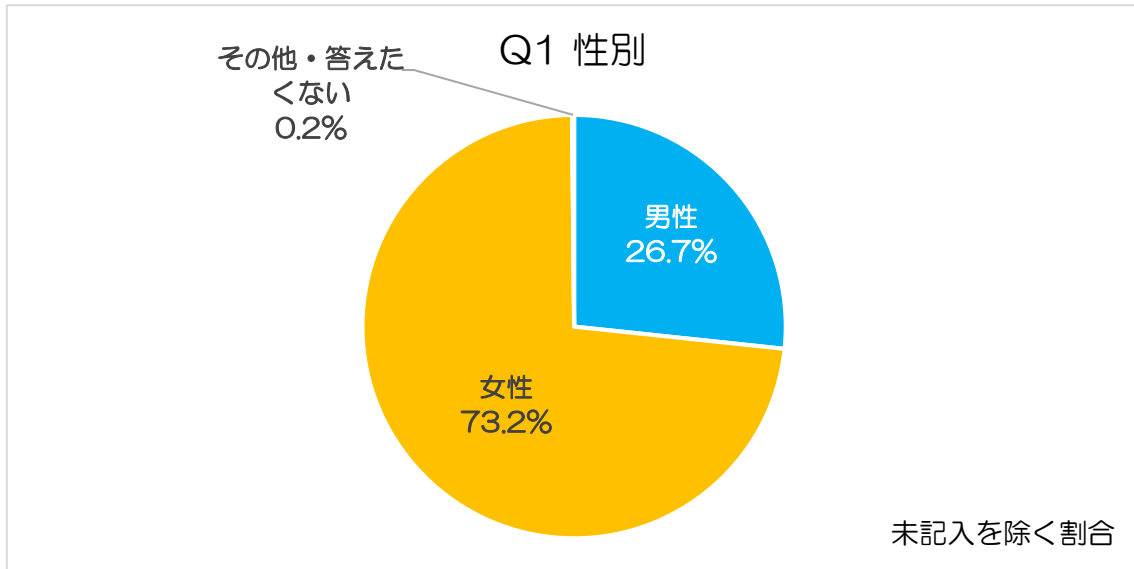
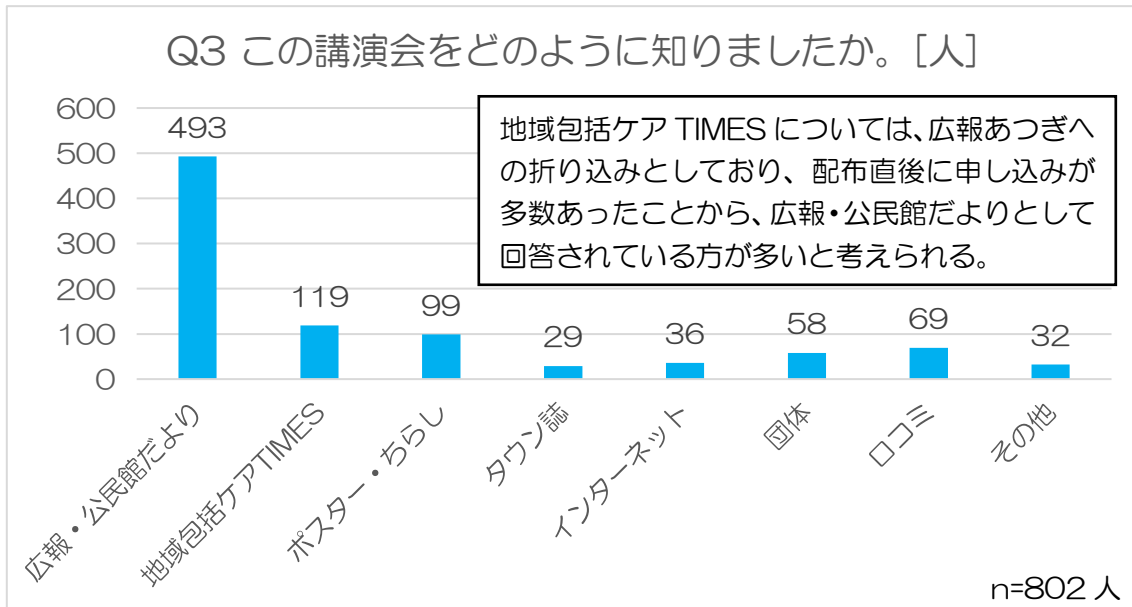


アンケート集計結果

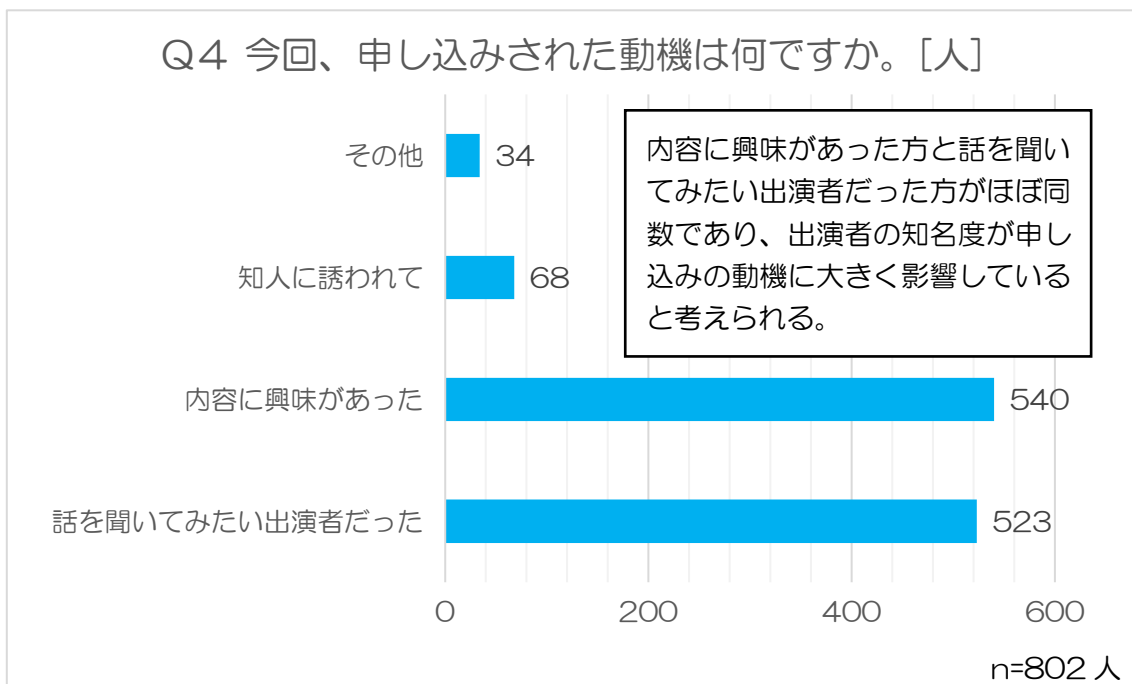
講演会名：令和4年度 地域包括ケア講演会・厚木市地域福祉推進大会
最期まで自分らしく ～自分の「こころづもり」を遺すということ～
参加者数：1,010人
回答者数： 802人（回収率：79.4%）





その他の内訳

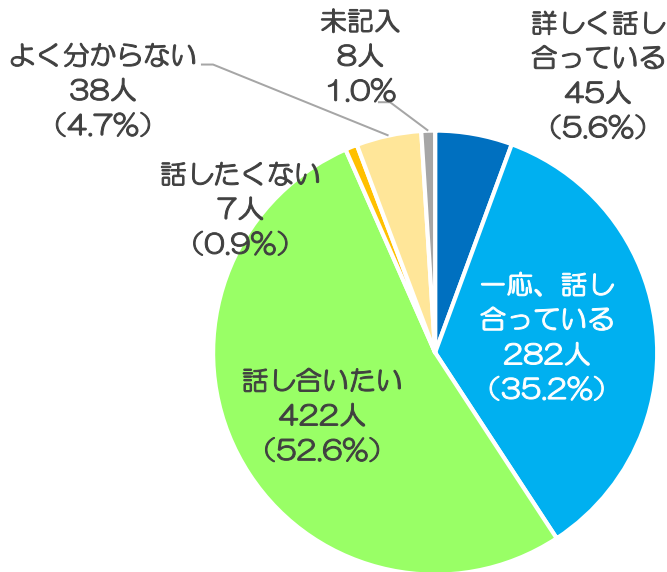
- 家族から（12人）
- 職場（地域包括ケア推進課からの案内メール含む）（6人）
- 厚木市公式LINE（4人）



その他の動機

- 自身や家族の今後の参考とするため（12人）
- 家族、職場、所属団体などからの誘いがあった（7人）
- 家族に介護を必要する人がいる（2人）
- 最近、家族が亡くなったため（2人）

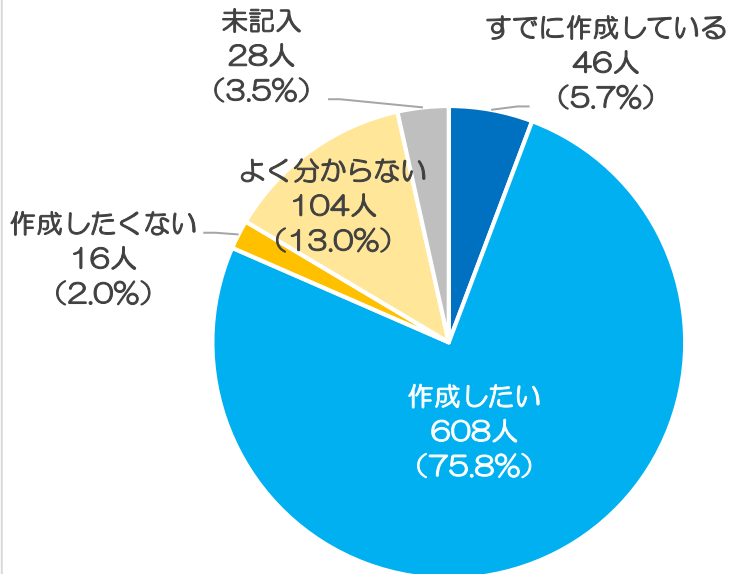
Q5 あなたの大切にしていることやどのような医療やケアを望んでいるのか、家族などと話し合っていますか。
これから話し合おうと思いますか。



すでに話し合っている方が40.8%と、厚生労働省の調査による39.5%に近い数字が表れている。また、講演会の中で話し合いの重要性について説明したことで、まだ話しあっていない方のうち、88.9%の方が話し合いたいと回答をしている。

n=802人

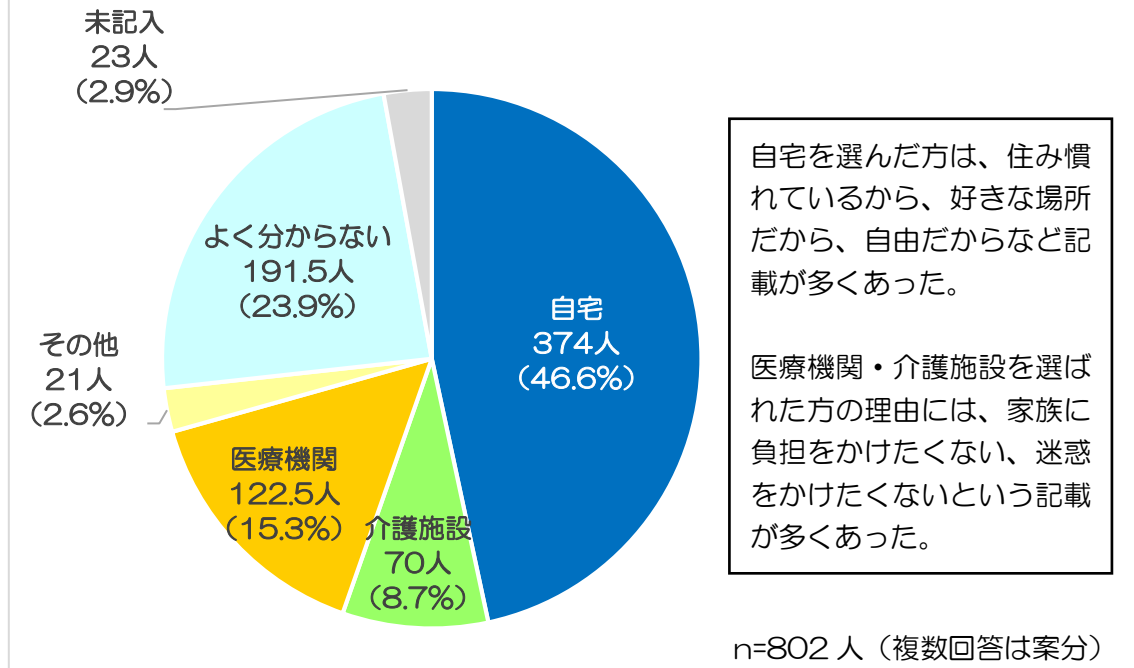
Q6 意思表示をじぶんノートなどの書面や動画でしておきたいですか。



すでに作成している方の割合は厚生労働省の調査による8.1%を下回っているが、作成したいと回答した方が75.8%に上り、来場された方が前向きに捉えていると考えられる。

n=802人

Q7 自分の最期はどこで迎えたいですか。



その他：ホスピス（1人）、有料施設（1人）、自然の中（1人）、未定（1人）、どこでも良い（1人）など

自宅を選んだ理由

- ・住み慣れているから、好きな場所だから、思い出があるから（25人）
- ・自由だから、やりたいことができるから（18人）
- ・家族と一緒に過ごしたいから（12人）
- ・落ち着くから（11人）
- ・安心できるから（8人）
- ・家族に看取られたいから（7人）
- ・延命治療を望まないから（5人）
- ・自分らしく過ごせるから、自分らしく最期を迎えたいから（2人）

医療機関を選んだ理由

- ・家族や周囲に迷惑をかけたくないからなど（30人）
- ・安心だから、設備が整っているから（3人）

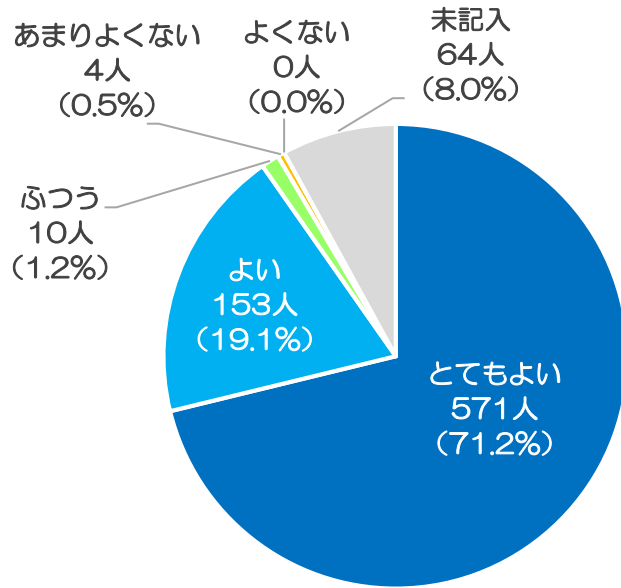
介護施設を選んだ理由

- ・家族や周囲に迷惑をかけたくないから（20人）
- ・施設は楽しそうだから（2人）

良く分からないを選んだ理由

- ・家族や周囲に迷惑をかけたくない（10人）
- ・まだ考えていない、まだ決められない（11人）
- ・想像ができない（7人）
- ・その時の状況による（14人）

Q8 本講演会を評価すると、いかがでしたか。



90.3%の方が「とてもよい」または「よい」を選択しており、未記入の方を除くとその割合は98.1%となっている。
全体的に、肯定的に評価されたと考えられる。

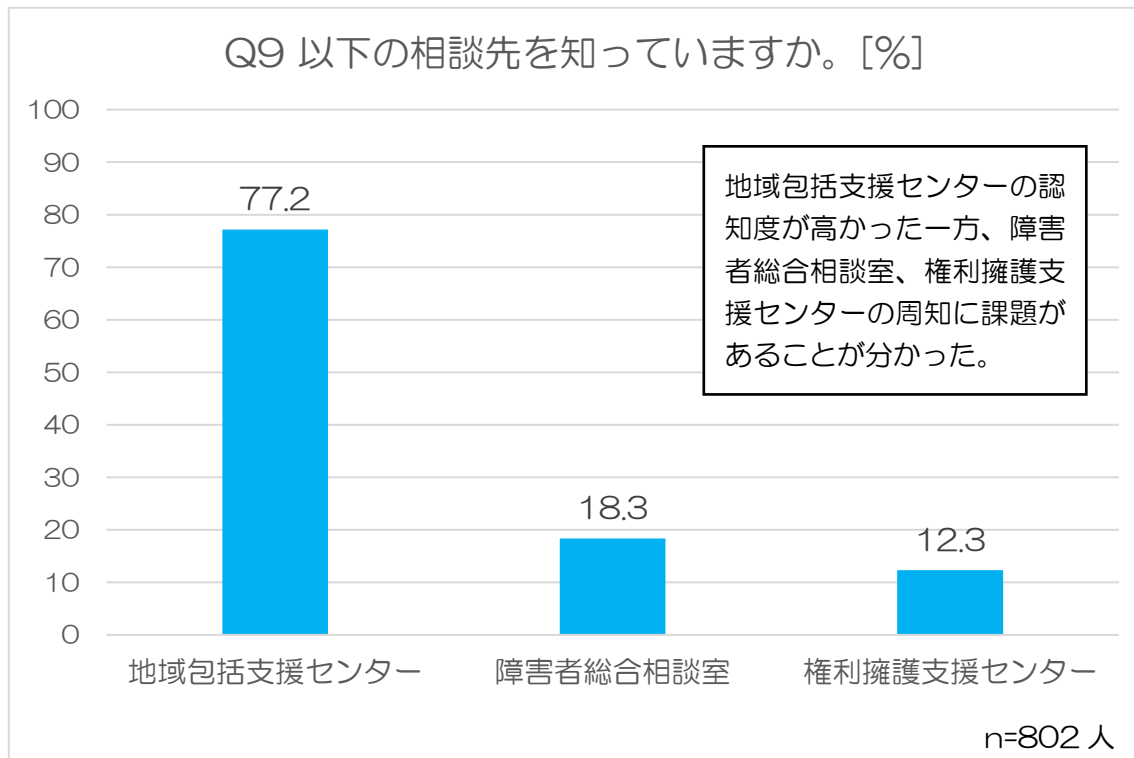
n=802人

とてもよいと答えた方の理由

- ・体験談を聞くことができた、話が具体的だった (30人)
- ・分かりやすかった (30人)
- ・考えさせられた、考えるキッカケとなった (28人)
- ・明るく聞くことができた、気楽に向き合うことができた (20人)
- ・楽しかった、笑いがあってよかった (16人)
- ・出演者が良かった (14人)
- ・参考になった、勉強になった、これから役に立てることができそう (12人)
- ・家族に意思を伝えたり、家族で話し合ったりしようと思った (11人)
- ・考えさせられた (8人)
- ・話の内容が良かった、興味深かった (7人)
- ・意志を残そうと思った、書面を残すことの大切さがわかった (7人)
- ・死に対するイメージが変わった、身近に感じられるようになった (6人)
- ・前向きになることができた、これからを大切に生きる事ができるなど (5人)
- ・家族や周囲に伝えたいと思った (5人)

よいと答えた方の理由

- ・分かりやすかった (11人)
- ・楽しかった、笑いがあってよかった (8人)
- ・参考になった、勉強になった、これから役に立てることができそう (6人)
- ・考えさせられた、考えるキッカケとなった (6人)
- ・話の内容が良かった、興味深かった (5人)



アンケート 自由回答（感想）の抜粋

【出演者に関すること】

- ・ 田村淳さんの話をオンラインではなく実際に講演で聞くことができてさらに心に残りました。町さんの進行が分かりやすく、親しみのある感じで分かりやすく、とても良かったです。
田中さんは実際にあったことの話聞いたのがとても良かったです。まだ他のケースとかも聞いてみたいと思いました。母が苦手な私ですが、昔の写真と一緒に見たり、ライフチャートなどやってみたりしたいと思います。
- ・ 田村さんの明るいトークで、死という重いテーマでしたが、とても前向きに考える機会になりました。父母とどう生活したいか？明るく話したいと思います。遺書のイメージが変わりました。書いてみようと思います！
- ・ テレビで活躍している淳さんから最期についての話を笑いを交えながら話してくれるのが良かったです。町亞聖さんの司会も素敵でしたし、田中さんの延命治療についてのこと（延命治療は人工呼吸器を外すかどうかのことだけではなく、食べられなくなった時に点滴や経管栄養をするかの選択なども含まれることなど。）も知ることができました。
- ・ テーマが年配者向けと思って来場したら、若い方も多く、淳さんの話が最高で明るい遺書を書いてみたくなりました。誕生日に！母は明るいのが一番だと思い、この年末、明るく家族と話そう！
- ・ 町さんの進行がとても上手だったので、田村さん、田中さんのお話興味深く聞くことができた。大変いい講演会だった。町さんの司会がとても上手で、話が入ってきやすかったです。
- ・ 好きな芸能人が講演すると、参加するきっかけになって、興味なかった内容も話を聞くことで興味を持つことができた。

【ACPなど今後の取組について】

- ・娘が自分の誕生日に遺書を書いていて、私達にも書いてと言っておりました。日頃から亡くなったらどうしたいか、夫婦で話し合っただけだったので、主人がもうどうすることもできないと分かった時、主人にどうしたいか確かめることができたので、後悔がまったくないという嘘になりますが、思い残すことなく送ることができたと改めて思いました。
- ・この年末が近いタイミングで聞けて良かったです。帰省して、家族に人生の振り返りから希望（ACP）を聞いてみたいと思います。夫に介護の事を話すと、まったく興味を持ってくれず話せなかったのですが、有名人の講演ということで、付いて来てくれて、楽しそうに聞いてくれたので、帰ったら話してみようと思います。
- ・現在、母親から定期的に、テレビ見ながらなど、自身が亡くなった後の葬儀について話を聞かされています。持病も抱えているため、望む医療やケアについても話を聞きたいと思います。自分も事故などで亡くなった時のために、口座やスマホのパスワードなどを示したノートを作成しているため、そこに生き方についての項目も、入れていきたいと思いました。
- ・40代で両親、義両親を見送り、50代に入った今、自分の事、夫の事の今後をなんとなく考え始めたところでした。今回は、改めてどう生きたいか、夫の意思もちゃんと聞いてみたいと思える講演でした。
- ・私や夫、子ども達によく「私が死んだらこうしてほしい」等、軽く話していますが、今日の講演会でより深いところでの発展の仕方や作戦（笑）のイメージがとてつきやすかったです。また、今、母が病気で在宅ケアが始まろうとしているので、母に対しての対応の参考にもなりました。
- ・淳さんと同年代ですが、まだ遺書について考えたことがありませんでした。両親の事も考えると、日常会話の中で、将来の事も話していきたいと思いました。講演会は、内容の割には堅苦しくなく、話も聞きやすかったです。淳さんの話が楽しく、あっという間でした。
- ・看護師をしています。看護師でありながら、死や、何かあった時のこと、もしもの時のことは考えたくなくて、両親とも一度も話したことはありません。頭の片隅では気にしていますが……。でも、今日のお話を聞いて、「今後どう生きたいか」として考えてみる、話し合ってみるのは、良いかなと思いました。
- ・数か月前にがん宣告を受け、今後の事を考えていた時にこの講演があるのを知り、淳さんの話しを聞いてみたくて応募しました。講演を聞き、家族のため、自分のため、今後の希望をしっかりと伝えようと思いました。

【介護や看取りについて】

- ・病院の看護師として、また、がん看護に関わって1年経ち、色々な終末期患者を見てきました。家で看取るイメージは全く想像できていませんでしたが、講演会を聞いて本当に良かったです。色々な経験、患者、家族のことを思い出しました。
- ・父と約束した自宅に帰るということを果たせず、父は病院で旅立ちました。たくさんの方々にご相談して、訪問看護師さん、ケアマネさん、訪問医の先生が決まり、看取り士さんにもお世話になるはずでしたが、入院していた病院の主治医の先生に理解してもらえず、病院での旅立ちとなったことが心残りでした。

死は、人として自然なことで生きる事です。今日、3人の方の体験を聞かせていただき、父が天で笑っている姿が浮かびました。大切な家族のために、早速、私の遺書を書いてみます。本当にありがとうございます。

【講演会の運営について】

- ・ 耳が聞こえません。手話があって、大事な話が良く分かりました。
- ・ 少し聞き逃したところがあったりしても、字幕（要約筆記）が少し遅れて出るので内容が分かって助かり、ありがたかったです。
- ・ 内容がとてもよく分かり、最後まで楽しく聞けて、本当に良かったと思います。親子で聞きたい内容でした。手話もあり、画面での表示（要約筆記）も良かったです。

【今後の講演会についての希望について】

- ・ 今回は本当に参加できて良かったです。思っていた以上に、私にとって良かったです。もっと若い人にこの話を聞いてもらいたいと思いました。そのためには、またぜひ淳さんが話す心と心に響くのではないかと思います。自分、親など、まだ死に遠い人に知ってもらいたいと思います。
- ・ 町亞聖さんをヤングケアラー経験者として、是非、呼んでいただきたい。
- ・ 子どもがまだ小さく、私達夫婦は高齢なので、ヤングケアラーの話にも興味があります。またぜひ町亞聖さんを呼んでいただき、話を聞いてみたいです。

【やっぱり家がいい！について】

- ・ （配布資料に）同封されていた「やっぱり家がいい！」、読ませていただきました。開演前に読んで涙が止まりませんでした。講演会も素晴らしかったです。来場させていただき、ありがとうございました。
- ・ 2月に自宅で母を看取りました。いただいた小冊子の最期がまさに母そのものでした。友人に役立ててもらうために、渡したいと考えています。

【その他】

- ・ 自宅で最期を迎える時、自分はいいけれど、家族に迷惑をかけてしまうのではないかと、思っていると、「自宅で」とは言えないかもしれないって思いました。色々考える機会になりました。ありがとうございます。
- ・ 在宅での看取り、介護について、ハードルを高く考えがちですが、死が日常の続きにあるものという考えが日本人に戻ってくれば良いと考えました。
- ・ 何があっても、当たり前前の年齢になっています。家族（夫、子ども達）と死前提で話し合えるように前向きに努力したいと思いました。